

危険を予想して

ご存じのように、子どもたちが被害に遭遇する様々な事件・事故が起っています。

「ここで、今起こるはずはない」と思うか、「いや、いつ起こるか分からない」と考えておくか、ここ最近の報道などを見聞きしていれば、自ずと結論は後者ということになります。

「雨が降るかもしれないから傘を持っていくように、地震が起こるかもしれないから避難用具を準備しましょう」というCMもありますよね？

水難事故等を想定した「救急法講習」や、不審者から子どもを守るための学級活動、服を着たまま川などに落ちた時を想定した「着衣泳」も実施しました。

「予知」はできないけれど、「予想」ができるのは、人間の大きな武器です。

【PTA救急法講習】



【不審者に「いや」と言って逃げる練習！】



【子どもたちにも指導していただきました。】



【着衣のままでは泳がず、浮くことが優先】



「時間は1日24時間、平等に与えられています」が、過ぎ去ってしまうと取り返すことができません。科学技術が進歩したといっても、「タイムマシン」もなければ、「タイムスリップ」とか「ワープ」することは、今のところできません。

夏休みの過ごし方について「計画的に」「健康的に」などの言葉が列挙されますが、8月末（2学期始業日）、「あの日（あの時）、こうしておけば良かった」とならないよう見届けをお願いします。



校長のつぶやき

どうやら、終業式の日あたりから「梅雨明け」となりそうな予報のようです。

先週末から、宮崎市・西都児湯地区を中心にコロナウィルスの「クラスター感染」が報道されています。日向市でも感染が確認されており、「感染拡大緊急警報」が発令されています。

「新しい生活様式」を再確認し、「熱中症対策」等も含め、「正しく怖がり」自他の命を守る行動をとらねばと気を引き締めているところです。

今日、この日。今、この時

大人になると時間経過の感じ方が、子どもと違うといえます。
「何をしているか」にもよるのですが、子どもの頃、1日や1時間を長く感じていたのに、大人になるとあっという間に感じるという具合。

「チコちゃんに叱られる（NHK）」によると、「ときめき」が多いか少ないかの差だとか・・・（諸説あり）。

「時間は1日24時間、平等に与えられています」が、過ぎ去ってしまうと取り返すことができません。科学技術が江戸時代と比べて進歩したとしても、テレビや漫画、映画などに出てくるような「タイムマシン」もなければ、「タイムスリップ」とか「ワープ」するはできないのが現実です。

夏休みの過ごし方について「計画的に」「健康的に」などの言葉が列挙されますが、8月末（2学期始業日）、「あの日（あの時）、こうしておけば良かった・・・」という反省の言葉が、子どもたちから出てこないようにしたいものです。